

◆岡山大学法学部だより◆

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 146 号(2018 年 9 月 26 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

=====  
朝夕しのぎやすくなってきました。今回のコラムは将棋学生名人に輝いた羽仁さんです。名人戦優勝、おめでとうございます。

-----  
○在学生の活躍から（将棋の「第 74 回学生名人戦」で優勝）

-----  
初めまして、羽仁豊と申します。2015年に岡山大学法学部に入学して現在四回生です。この度は将棋の大学生の全国大会である学生名人戦で優勝し日本一になりました。

さて将棋界では昨年から史上最年少プロ棋士の藤井聡太七段の活躍や、羽生善治先生の永世七冠達成による国民栄誉賞受賞。更には岡山出身の菅井竜也先生の王位のタイトル獲得など一人の将棋ファンとしては嬉しい状況が続いており、そのおかげもあって私もこうして色んな方にお声掛けしていただけています。

私自身の話ですと、出身は倉敷市の西阿知町で、将棋のルールを覚えたのは小学校五年生の頃です。ですが、本格的に指し始めたのは中学受験等もあって中学二年生からでした。家から通える距離に将棋道場があり、更には中学生になり母からパソコンを買い与えられたこともあって、全国の人々とオンライン対戦のできるネット将棋にも毎日のようにのめりこみました。そのせいで学校の成績は酷く下がりました（今もあまりよい成績とは言えませんが・・・）が、そういった姿を叱るのではなくのびのびと自由にさせてくれた母のおかげで、高校一年生で県大会初優勝、翌年に全国ベスト4。大学入学後も大学2、3年で全国準優勝。そして今回の全国優勝へとつながっていきました。

私は将棋を強くなるにあたって、本人の才能や努力は勿論大切ですが、環境や周囲の人々の理解、そして運や巡りあわせも重要だと考えています。

実は西阿知は昭和の大名人、大山康晴氏の故郷でもあります。そのため、地方にも関わらず将棋道場や強い選手がいるなど強くなるための環境に恵まれていました。また、私が岡山大学に入学したいと思っていた理由の一つに、将棋部の存在がありました。高校時代にオープンキャンパスで部室を訪れた際に先輩に快く将棋を教えていただき、その後岡山大学将棋部は中四国屈指の強豪校ということも知り、大いに刺激となりました。

将棋を始めて様々な人や環境との巡りあわせがありましたが、もし岡山にいなかったら、そう私は確信しています。

来年から県内の企業に就職するのですが、今後も周囲への感謝を忘れずに、そして「岡山」と「将棋」という二つのアイデンティティーを誇りに社会人になっても日本一を目指して頑張りたいと思います。

拙文でしたが、最後までお付き合いいただきありがとうございました。

羽仁豊（法学部4年生）

・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。